

阿蘇山上広場の廃屋撤去へ

総額116億6615万円に

国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業 ※国・熊本県と連携・合併特例債を活用（P11参照）

国内外から観光客を集める阿蘇中岳火口周辺の景観向上を目指し、火口から約1キロに位置する阿蘇山上広場の廃屋2棟の撤去を進める。2021年より環境省、熊本県と協議を進めており、費用は3億8千万円。主に国や県の補助金を活用し撤去する。

撤去後は、跡地に民間事業者を誘致し、飲食だけでなく阿蘇の文化や自然保護を学ぶ場などの観光施設を検討している。多くの意見を聞いた上で、拠点にふさわしい企業を募っていく。



解体予定の廃屋

経営発展支援事業



事業で導入した施設

地域力創造アドバイザー業務事業

民間・先進自治体の外部専門家であるアドバイザーを派遣し、課題を抱える自治体と地域人材ネットをマッチング、地域づくりの取り組みを効果的に進捗させることを期待し取り組む総務省の事業。3年間の事業で財源は特別交付税措置される。



アドバイザー

今村輝宏氏、議員辞職

今村氏から一身上の都合により辞職願が議長に提出され、6月27日付けで辞職することが許可された。

広報委員会新体制に

今村氏の辞職に伴い広報特別委員会は、新委員長に市原恵一氏、副委員長に坂田正也氏を選出した。

文教厚生常任副委員長 河内克也
阿蘇広域行政事務組合議員